

# 防

# 災

# 力



## 令和3年度妹背牛町防災訓練実施

7月17日（土）、妹背牛町総合体育館で町職員が主体となり令和3年度妹背牛町防災訓練を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えぬ中、災害時の避難所開設時における感染防止対策を講じながらの訓練を行い、町職員らの防災意識の向上を図るとともに関係職員の相互連携を高め、各区々長などの参加をいただき、災害時における避難などに対する住民意識の高揚を図ることが目的。

訓練開始前には、道総務部の危機対策支援員 北村 昌也 氏より感染症流行時の避難場所開設方法や災害発生時の避難の心構えについてお話いただきました。

# 地

# 域

# の

## 防災訓練の概要

### 避難所開設訓練

5つの班を編成し、避難所受付班は受付所の設置。物資設置班は消毒液、掲示物の設置。避難場所設営班はA・Bの2班に分かれ、A班は体育館のアリーナで一般避難者用の段ボールベットと間仕切りテントを設置。B班はサブアリーナに一時隔離避難者用ドーム型テントを設置しました。食糧炊き出し班は、備蓄食糧の試食準備を行いました。

### 避難者受付訓練

初期受付では、名前の聞き取りや検温を行い、その結果、一般受付または発熱者用受付に誘導します。

一般受付では、避難者の代表の名前、住所、人数を聞き受付簿に記入。その後、避難場所を決め、それぞれの避難場所に誘導し、避難者個別カードを記載台で記入後、担当職員まで提出。発熱者用受付では、一般受付と同様の聞き取りに加えて、再度検温と問診を行いました。その後、避難するテントを決め、テント内で避難者個別カードを記入し、担当職員に提出するまでの一連の動きを体験しました。



◀ドーム型テントの設置



▲検温を行い、健康状態を確認



▲備蓄食糧を試食する参加者

## 防災訓練を終えて



総務課総務グループ  
主幹 北口 信彦

本防災訓練では、「新型コロナウイルス感染症」の感染拡大防止対策を踏まえた避難所開設を実際に体験することで、その難しさや準備の必要性など多くの経験や知識を参加者に認識していただくことができました。あわせて、コロナ禍における避難所の開設・運営が想像以上に難しいものであること、必要な物資や事前の準備態勢などに多くの課題が明確になりました。

今後においては、今回の課題を活かし、対象や内容を変えながら住民が主体となった「防災訓練」を計画しております。いつ起きてもおかしくはない、未曾有の災害が発生した際には、住民の皆様の手で避難所などの開設・運営をお願いすることとなりますので、ご理解と協力をよろしくお願いいたします。